

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
1	防災危機管理室	防災危機管理室	自主防災組織活動推進	事業協力	自治会、自主防災組織	平時から、自治会を軸とした自主防災組織と協働で防災意識の啓発を行うことにより、減災を図るもの。 R4年4月現在、市内983自治会中、611自治会で自主防災組織が結成されている。	各組織ごとに必要な備えや体制を考えていただき、その地域に応じた防災活動の推進を図ることができている。	1,665
2	防災危機管理室	防災危機管理室	地域防災マップ作成	事業協力	市民防災リーダー	長崎市が養成し、それぞれの地域で防災意識の普及啓発を推進していただいている「市民防災リーダー」を活用し、各人の自治会内での活動のみではなく、連合自治会内の他の自治会において地域防災マップづくりを行う際に、作成補助として参加していただき、連合自治会単位での防災活動推進及び市民防災リーダー間の交流を図っている。R4年4月現在、市民防災リーダー:1,234人	連合自治会単位での防災活動推進及び近隣に住む市民防災リーダー間の交流が図られている。	163
3	防災危機管理室	防災危機管理室	地域と連携した避難所運営事業	事業協力	連合自治会等	自主避難の促進につなげるため、避難しやすい環境づくりを目的として、現在避難所要員だけで行っている避難所の運営を、地元自治会の方々と一緒に行うもの。	地元の方が避難所にいるという安心感から、自主避難の促進及び避難所の再確認を行うなどの防災意識の高揚が図られている。	720
4	防災危機管理室	防災危機管理室	市民防災リーダーによる地域防災マップづくりや防災講話	事業協力	承諾を得た市民防災リーダー	過去の大規模災害でも自助・共助の力が減災に繋がっていることが実証されており、職員主体から地域主体による地域防災力向上の体制づくりへ移行していく必要がある。そこで、職員が行っている地域防災マップづくりや防災講話の講師を、市民防災リーダーへ協力依頼することで、地域目線・市民目線での地域防災力の向上に取り組む。	地域目線・市民目線での講話を行っていただくことで、より具体的な認識が深まり、さらなる防災活動に取り組んでいただく一助となっている。	0
5	情報政策推進室	情報政策推進室	実社会課題解決プロジェクトへの参画	事業協力	長崎大学情報データ科学部	長崎大学情報データ科学部が実施する実社会課題解決プロジェクトに参画し、学生と地域課題の解決に取り組む。 令和4年度は、オープンデータの活用に向けたデータ作成に関する提案、XRコンテンツの創出に関する提案の2件について、提案している。	学生にとって、身近な長崎市の課題について、知ってもらう、考えてもらう機会となるとともに、課題解決に向けた新たな提案がなされることなどが期待される。	0
6	秘書広報部	国際課	多文化共生推進事業(うち長崎市国際ボランティアにかかる部分)	事業協力	長崎市国際ボランティア	公募による長崎市国際ボランティアにより、外国人住民対象の初級日本語講座、国際交流イベント、通訳などを行い、長崎市の国際化を推進する。	長崎市国際ボランティアの協力により、本市の国際化の推進が図られた。	776
7	秘書広報部	国際課	多文化共生推進事業(外国人住民支援にかかる部分)	事業協力	長崎市国際交流・協力団体等	法務相談ややさしい日本語セミナーの実施により外国人住民の生活利便性の向上につなげる。	団体等の協力により、外国人住民の生活利便性が向上した。	44
8	秘書広報部	国際課	国際交流推進事業(国際交流イベントにかかる部分)	事業協力	長崎市国際交流・協力団体 市内大学	各団体が日本を含む世界各国の文化を紹介したり、留学生が自国の文化などを紹介したりする場をすることにより、日本人と外国人住民の双方が異文化に対する理解を深める機会とする。	団体等の協力により、より多くの国の文化に触れる機会を市民に提供することができ、市民の異文化に対する理解を深めることができた。	607

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
9	企画財政部	移住支援室	移住支援事業	事業協力	ながさきダンカーズ倶楽部	長崎市への移住・定住を促進するため、移住支援を行っている地域団体や市民団体と情報共有するなど連携しながら、移住希望者に対して支援を行っている。	移住希望者に対して、長崎市の移住支援事業や地域の魅力や情報を伝えるなどきめ細やかな支援を行うことにより、長崎市への移住・定住につながることを期待できる。	0
10	企画財政部	移住支援室	移住支援事業	事業協力	一般社団法人 ソトメヤ	長崎市への移住・定住を促進するため、移住支援を行っている地域団体や市民団体と情報共有するなど連携しながら、移住希望者に対して支援を行っている。	移住希望者に対して、長崎市の移住支援事業や地域の魅力や情報を伝えるなどきめ細やかな支援を行うことにより、長崎市への移住・定住につながることを期待できる。	0
11	企画財政部	移住支援室	移住支援事業	事業協力	NPO法人夕陽が丘そとめ	長崎市への移住・定住を促進するため、移住支援を行っている地域団体や市民団体と情報共有するなど連携しながら、移住希望者に対して支援を行っている。	移住希望者に対して、長崎市の移住支援事業や地域の魅力や情報を伝えるなどきめ細やかな支援を行うことにより、長崎市への移住・定住につながることを期待できる。	0
12	市民生活部	自治振興課	広報ながさき等配布謝礼金	事業協力	市内965自治会	広報ながさき及び文書等の配布に対する自治会への謝礼。	・広報ながさきの配付及び本市からの通知文書等の周知を自治会に依頼することで、自治会加入世帯に対しては漏れなく伝達ができている。 ・一方、自治会も謝礼金を自治会の運営資金の一部として活用している。	78,956
13	市民生活部	自治振興課	長崎市いきいき地域連携強化推進事業	事業協力	個人(現在19人)	H17年度より各種イベントなどの地域の連携につながる活動を支援するため、各分野で豊かな知識や技術を持たれている方を「いきいき地域サポーター」として自治会などに派遣している。	自治会運営に必要な専門知識・技能をもつ方の派遣を行うことで、自治会運営や、夏祭りなどの自治会のイベントの活性化につながった。	2
14	市民生活部	自治振興課	長崎市よかまち見回りサポーター活動	事業協力	長崎市よかまち見回りサポーター登録者	屋外で行う日常活動のなかで、長崎市よかまち見回りサポーター登録者が防犯アイテムを身に着けて防犯パトロールを行うことで、地域における犯罪の抑止及び防止並びに防犯意識の向上を図り、もって市民が安全・安心に暮らせるまちづくりに寄与する。	地域における犯罪の抑止及び防止並びに防犯意識の向上が期待できる。	411
15	市民生活部	自治振興課	地域防犯講座	事業協力	希望する自治会、老人会等の地域団体	市職員と警察署員が地域団体を訪問し、各地域の防犯の取り組みや市民相談の状況、現在の犯罪状況(特に振り込め詐欺防止対策)等を紹介し、地域活動の活発化や地域の連帯力を促進させ、地域の防犯力向上に寄与する。	地域の防犯力の向上が期待できる。	0
16	市民生活部	自治振興課	「わがまちの交通安全」講座	事業協力	希望する自治会、老人会等の地域団体	市職員が関係機関の職員と協働して、講座の聴講を希望する地域団体を訪問し、地域の交通事情や交通安全のための有益な情報を提供し、住民の交通事故の防止に寄与する。	住民の交通事故防止への意識向上が期待できる。	0
17	市民生活部	自治振興課	高齢者交通安全対策費	事業協力	警察、長崎県交通地域安全課、自動車会社、自動車学校	高齢者が加害者となる事故を未然に防ぐため警察等の関係機関・団体との協働により、高齢運転者を対象とした交通安全講習を実施するもの。	警察等の関係機関・団体と協働することにより、専門的な内容及び機材を用いた講習が可能となる。また、自動車学校で実施することにより、実車による講習を行うことができ、より実践に近い講習となる。	237

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
18	市民生活部	自治振興課	高齢者向け交通安全教室	事業協力	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	高齢者の交通事故を未然に防ぐため、警察及び包括連携協定を締結している民間企業と協働し、高齢者向けの交通安全講習会を実施する。	民間企業が持つ交通安全に係るノウハウを活用し、講習会の充実を図ることができた。	0
19	市民生活部	人権男女共同参画室	啓発広報費(うち男女共同参画推進事業ボランティアにかかる部分)	事業協力	長崎市男女共同参画推進事業ボランティア	本市が実施する男女共同参画に関する事業をボランティアとして活動して支援することを目的として組織し、男女共同参画の推進を目指す。	アマランスフェスタや男女共同参画推進センターとの官民協働講座における講座の企画提案や情報紙の企画・編集作業を協働して行うことで、男女共同参画推進に関する市民の意見やニーズを取り入れることができた。	48
20	市民生活部	文化振興課	文化振興推進活動事業	事業協力	長崎ブリックホールサポーター	本市が行う自主文化事業等文化振興事業をボランティアとして支援していく組織を制度化し、文化活動を行う人材育成を目指す。	市民と市が継続的に協力していくことで、市民の皆さんに文化活動への理解を深めていただくとともに、将来的に市民文化活動を担う人材が育成されることに繋がっている。	241
21	市民生活部	スポーツ振興課	レクリエーション・スポーツ教室開催	事業協力	長崎市スポーツ推進委員協議会	生涯スポーツ活動の普及・振興を図るため、長崎市スポーツ推進委員協議会と共催し、「地域(レクリエーション)スポーツ教室」を実施。地域で行われるスポーツ行事(教室)にスポーツ推進委員を派遣し、市民がスポーツを楽しむ機会の拡充を支援するもの。	市内各所で教室を開催することにより、スポーツを気軽に楽しむ機会を提供することができた。	124,500
22	原爆被爆対策部	平和推進課	平和の文化キャンペーン	事業協力	庁内各課をはじめ、企業・団体	9・10・11月を平和の文化キャンペーン期間に設定し、秋に開催される「平和の文化」に関係するイベントを関連事業として集約し、分かりやすく周知するなど「自分に合った平和の取り組みを見つけるきっかけづくり」を行う。	庁内各課をはじめ民間団体・企業等、様々な組織と連携しながら、芸術やスポーツなど様々な分野を入り口とした平和に関係するイベント(21事業)をキャンペーン関連事業として集約し、平和について考え、行動する取り組みを推進した。	0
23	原爆被爆対策部	平和推進課	考えよう!「SDGs×平和」事業	事業協力	長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)ながさき海援隊	長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)の教員と環境活動を行う学生を講師に迎え、SDGsの中で一番身近なテーマである「環境」を入口に平和について学ぶプログラムを実施するもの。	「環境」を入口に平和について学ぶ機会を創出することで、地球規模の問題は繋がっていて、自分がどう行動するかが大事であることを理解し、行動する機会を創出することができた。	126
24	原爆被爆対策部	平和推進課	平和の文化祭	事業協力	ワイヤーママ長崎	平和の文化キャンペーン期間に、平和の新しい伝え方応援事業や平和の文化認定事業の作品等の展示や、平和をイメージした物品等を販売する「平和のマルシェ」等を行う「平和の文化祭」を開催するもの。	多くの人が気軽に「平和の文化」に触れる機会を創出することができた。	474
25	原爆被爆対策部	被爆継承課	被爆建造物等公開費	事業協力	山里小学校原爆資料室運営協議会	学校施設の中に原爆資料室を設置し、被爆の惨状を捉えた写真や、旧校舎の階段の手すりなどを展示しており、地域のボランティアの方々で構成する協議会のメンバーが常駐し、室内の案内に当たっている。 見学者は例年、年間約5万人で、多くを修学旅行等で訪れる小・中・高校生が占めている。	R4年度の山里小学校原爆資料室への入場者数は、新型コロナウイルス感染症の影響も解消し、52,967人であった。見学者に展示資料を詳細にわかりやすく案内することで、被爆の実相への理解をより深めてもらうことができ、平和への意識の啓発につなげることができた。また、山里小学校の平和教育の推進に重要な役割を果たした。	1,071
26	福祉部	福祉総務課	長崎市福祉部転入職員研修	事業協力	長崎市民生委員児童委員協議会	人事異動で新たに福祉部職員となった職員を対象に、福祉部の概要について研修を行っており、その中で、民生委員・児童委員の活動を理解してもらうため、長崎市民生委員児童委員協議会に講師を依頼した。	長崎市民生委員児童委員協議会から講師を派遣して職員研修を実施し、民生委員・児童委員の活動を理解することができた。	0
27	福祉部	福祉総務課	インターンシップ実習生の受入	事業協力	長崎市民生委員児童委員協議会	インターンシップ実習生が、福祉部の事業について学ぶとともに、民生委員・児童委員の活動について理解してもらうため、民生委員児童委員協議会に友愛訪問の同行を依頼した。	友愛訪問に同行したことにより、民生委員・児童委員の活動を理解するとともに、福祉現場の状況や市民ニーズを知ることができた。	0

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
28	市民健康部	健康づくり課	長崎市禁煙支援ネットワーク	事業協力	長崎市医師会 長崎市歯科医師会 長崎市薬剤師会	禁煙希望者が身近な所で気軽に禁煙に関する相談が受けられるようにするため、長崎市医師会、長崎市歯科医師会、長崎市薬剤師会が連携。事業に賛同する「禁煙サポート薬局」「禁煙支援協力歯科医院」を募り、医療機関以外でも、気軽に禁煙に関する相談や情報提供が得られるような体制をつくりネットワーク化。必要に応じ、薬局一医療機関間での対象者の紹介や、歯科医院では、喫煙と歯周病に関する情報提供の他、薬局、医療機関を紹介してもらうなど、必要に応じて関係機関を紹介する。 禁煙啓発用のリーフレットを作成し、関係機関及び長崎市の事業等で配布。	・禁煙サポート薬局による禁煙サポート事業により禁煙に取り組む市民を一定数確保することができ、禁煙成功率も自力で禁煙に取り組むよりも高い効果を得ることができている。 ・普及啓発のためのリーフレット設置に協力してもらうことで、市民が足を運びやすい病院等での周知を行うことができた。	0
29	市民健康部	動物愛護管理センター	狂犬病予防集合注射会場における犬の適正飼養啓発	事業協力	長崎 Life of Animal	公益社団法人長崎県獣医師会と協働で行っている狂犬病予防集合注射の市内62か所(延べ25日間)の会場において、犬の鑑札及び狂犬病予防注射済票の装着、犬の適正飼養に関する啓発活動を動物愛護ボランティア団体である長崎 Life of Animalの協力を得て、実施する。	狂犬病予防集合注射会場に会場した犬の飼い主に対し、犬の鑑札及び狂犬病予防注射済票の装着、適正飼養の啓発がもれなく実施できた。	0
30	市民健康部	動物愛護管理センター	犬猫の譲渡会	事業協力	長崎 Life of Animal、 長崎県動物愛護推進員 (長崎市推薦の推進員のうち1名)	動物愛護管理センターに収容中の犬猫及び、新たな飼い主を必要とする子猫に対して里親を募るため、年に3回の譲渡会を開催する。譲渡会における犬の展示、紹介等について長崎 Life of Animal、一般市民の子猫の持ち込み及び譲渡に関し長崎県動物愛護推進員(長崎市推薦の推進員のうち自主的に参加する1名)に会場でのサポート等の協力を得て、譲渡会を円滑に実施する。	動物愛護ボランティア団体及び動物愛護推進員の参加、協力により、ペットを飼う際の心構えや適正飼養に関する啓発が広く実施できている。	0
31	市民健康部	動物愛護管理センター	収容犬猫の治療、健康管理	事業協力	長崎 Life of Animal、 一般社団法人長崎ねこの会	動物愛護管理センターに収容中の犬猫の動物病院での治療等を長崎 Life of Animal及び長崎ねこの会の協力(治療費等の経済的な支援を含む。)を得て行っている。	収容犬猫の健康保持等ができ、譲渡適性を高め、譲渡数の増及び殺処分数の減につながっている。	0
32	市民健康部	動物愛護管理センター	収容犬の運動、訓練等	事業協力	長崎 Life of Animal及び 警察犬訓練士(1名)	収容犬の譲渡適性を高めるため長崎 Life of Animal及び同団体と協力関係にある警察犬訓練士(1名)の協力を得て、人馴れ訓練等を行っている。	収容犬の譲渡適性を高めることができ、譲渡数の増及び殺処分ゼロの継続につながっている。	0
33	市民健康部	動物愛護管理センター	収容犬のトリミング	事業協力	ぺっとはうす りとる。 しゅがー オーナートリマー	収容犬を、清潔で健康状態を良くし、譲渡適性を高めるため、ボランティアの協力を得て、トリミングを行う。	収容犬猫の健康保持等ができ、譲渡適性を高め、譲渡数の増及び殺処分ゼロの継続につながっている。	0
34	市民健康部	動物愛護管理センター	収容犬の譲渡希望者飼育環境等調査	事業協力	長崎 Life of Animal	収容犬の譲渡促進、譲渡先での適正飼養、終生飼養のため、収容犬の譲渡希望者が適正飼養できる環境等にあるか動物愛護管理センターと協力団体である長崎 Life of Animalと共同で、譲渡希望者宅を訪問調査等を行い、適正譲渡が可能となる者へ譲渡を行う。	長崎 Life of Animalの協力を得て、譲渡希望者の飼育環境等を調査し、適正飼養可能な者への譲渡を行うことができています。また、当該ボランティア団体に関与することで譲渡後のアフターフォローが可能となった。	0
35	市民健康部	動物愛護管理センター	多頭飼育崩壊対応	事業協力	長崎 Life of Animal、 一般社団法人長崎ねこの会、 さくら猫の会	少子高齢化の進展及び所得動物愛護ボランティア団体及び高齢者や障害者、生活困窮者に係る相談支援事業者、介護事業者等の協力を得て、犬猫の多頭飼育崩壊対応を行い、犬猫の不妊去勢手術、適正飼養の指導助言、飼い主の生活環境改善、生活支援、周辺への生活環境被害の軽減対策を行う。	動物愛護ボランティア団体及び福祉関連事業者等の協力により、犬猫の不妊去勢手術、犬猫の譲渡、適正飼養の助言指導、飼い主への生活支援等が可能となり、飼い主の生活環境の改善、周辺への生活環境被害の軽減につながっている。また、多頭飼育崩壊を引き起こした飼い主への福祉的支援等の生活支援につながっている。	0

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
36	市民健康部	動物愛護管理センター	公益財団法人どうぶつ基金 行政枠さくらねこTNR事業 及び 多頭飼育救済支援事業	事業協力	公益財団法人どうぶつ基金	猫による生活環境被害の抑制、猫の引取り及び殺処分数の減少を図るため、まちねこ不妊化推進事業を行っているが、実施頭数に限りがあることや多頭飼育等の緊急性のあるものに対応する手段がないため、市民ボランティアとの協働の下、どうぶつ基金を活用して、猫の不妊化手術を実施するもの。	公益財団法人どうぶつ基金、行政(動物愛護管理センター)、動物愛護ボランティア、生活困窮者相談支援事業者等の協働により、多頭飼育崩壊等の対応が可能となった。 また、まちねこ不妊化推進事業で対応できず、緊急を要する飼い主のいない猫の避妊去勢手術を同基金の支援を受けて実施することが可能となった。	0
37	市民健康部	動物愛護管理センター	犬の引取り相談	事業協力	長崎 Life of Animal	飼い主の高齢、病気等により犬の飼育継続が困難となった者に対する引取り相談等を長崎 Life of Animalと協働して行い、引取りや飼い主への飼育支援、里親探し等を行い、犬の引取り数及び殺処分数の減を図るとともに、飼い主への支援も行う。	飼い主の高齢、病気等により飼育継続困難となった犬について、動物愛護ボランティア団体への引取りや里親探しが円滑に進むようになり、飼育困難(放棄)によるネグレクト等の虐待防止、動物愛護管理センターによる引取り数及び殺処分数の減に効果が出ている。また、高齢者や生活困窮者等の相談支援事業者等の福祉関係機関につなげる等、飼い主への福祉的な支援にもつながっている。	0
38	市民健康部	動物愛護管理センター	迷子犬の飼い主捜索	事業協力	長崎 Life of Animal	動物愛護管理センターに収容された迷子犬で、飼い主が不明な場合、長崎 Life of Animalの自主的協力を得て、飼い主の捜索を行う。 迷子犬の飼い主の発見、飼い主への返還を行い、殺処分数の減に寄与する。	長崎 Life of Animalによる迷子犬の発見場所周辺の調査や同団体の人的ネットワーク等を用いた捜索がなされ、早期に飼い主が見つかることで、殺処分の減少につながっている。	0
39	市民健康部	動物愛護管理センター	飼い犬の虐待疑い対応	事業協力	長崎 Life of Animal	市民からの通報等により、飼い犬に対するネグレクトや暴力等が疑われる案件について、長崎 Life of Animalと協働(共同)で調査等を行い、飼い主に対する適正飼養に関する助言等を行う。	長崎 Life of Animalと協働(共同)で、飼い犬への虐待が疑われる飼い主の調査や助言等を行うこと、また、飼い主への犬の飼育に係る支援といったボランティア活動を行うことで、飼い犬のネグレクト等の虐待防止等につながっている。	0
40	市民健康部	動物愛護管理センター	動物愛護フェスタ	事業協力	長崎 Life of Animal 一般社団法人長崎ねこの会 ながさき地域ねこ活動支援ネットワーク 長崎の町ねこ調査隊塾 長崎県動物愛護推進協議会長崎支部 日本愛玩動物協会長崎県支所 市内の報道機関	毎年9月20日から9月26日までの動物愛護週間行事として、例年、長崎県、長崎市、公益社団法人長崎県獣医師会長崎支部の主催、市内の動物愛護団体の参加協力、報道機関による後援により、動物愛護思想の普及及び啓発を図るため、動物愛護週間期間中に動物愛護フェスタを開催。また、例年、市内の小学校にチラシやポスターの配布を行い動物愛護に関する普及啓発活動を行っている。 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、集客イベントの開催は中止となったが、動物愛護週間期間中、市役所1階ロビーにおいて啓発資料等の展示等を行った。また、長崎 Life of Animal及び一般社団法人長崎ねこの会と共催で稲佐山公園において合同譲渡会を開催した(合同譲渡会は当初、動物愛護週間期間中の9月23日に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑みた対策のため、11月3日に延期して実施)。	動物愛護及び管理に関する関係機関及び動物愛護団体等との協働によりイベントを開催。 動物愛護に関する市民の意識向上が図られている。	72
41	市民健康部	動物愛護管理センター	野良猫の不妊化地域等の猫の生息調査	事業協力	長崎の町ねこ調査隊塾	これまで飼い主のいない猫の不妊化手術を行った地域等における屋外に生息する猫の数や個体調査等を調査カルテを用いて行い、調査地域における猫の生息数の経年変化等を調査研究し、飼い主のいない猫の不妊化を行うまちねこ不妊化推進事業等の参考データ等とする。	長崎の町ねこ調査隊塾の調査によって、飼い主のいない猫の不妊化を行った地域では猫の生息数が減少していること、不妊化率が7割を超える場合は、子猫が見つからないことから繁殖が抑制されていることが分かり、不妊化の効果が検証できている。	0
42	こども部	子育てサポート課	親育ち学びあい事業 (あつまれ♪はじめてママ講座)	事業協力	BPプログラムを実施できるファシリテーター	第1子で、生後6ヶ月未満の乳児を持つ母親を対象とし、初めての子育ての孤立感・不安感を軽減し、参加者同士で相互に学びあうことを目的とした講座である「BPプログラム」を実施。	市にはない民間のノウハウを利用することで、より効果的に、受講者の子育てに対する精神的負担の軽減及び仲間づくりが図られた。	365

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
43	こども部	こどもみらい課	小学校区子どもを守るネットワーク推進事業	事業協力	各小学校区子どもを守るネットワーク	子どもたちが安全にかつ安心して過ごすことのできる住みよいまちづくりをするために、地域内の団体・組織・個人など地域の力を結集してネットワークを作り、安全確保のための活動を展開して、社会全体で子どもたちを守っていく。	パトロールや情報交換会が実施され、地域における子どもの見守り活動ができた。	4,256
44	環境部	環境政策課	自然環境保全推進事業 (ホタル発生調査謝礼金)	事業協力	ながさきホタルの会	自然環境保全の視点から、ホタルを通じた河川浄化の思想の拡大のため、毎年、市内の河川のうちホタルが飛翔すると思われる河川において発生調査を行っており、その調査の一部をながさきホタルの会にお願いし、謝礼金を支給。	ホタル発生調査の結果をもとに「長崎市ホタルマップ」を作成し、これをホームページ等で市民に向け情報発信することで、市民の河川を含めた自然環境保全に対する意識の醸成を図ることができる。	88
45	環境部	廃棄物対策課	市民協働環境美化推進事業 (アダプトプログラム、ボランティア清掃)	事業協力	・アダプトプログラム…里親団体 ・ボランティア清掃…公共空間を清掃する個人・団体	・アダプトプログラム 長崎市内の道路・公園・河川・文化財等の公共空間を養子にみため、団体が公共空間の里親となり、環境美化を行うもの。市は、アダプト団体に対して清掃用品の支給、管理区域の表示板の設置、ボランティア保険の加入、ごみ収集車の配車等の支援を実施している。 ・ボランティア清掃 ボランティアで公共空間を清掃する個人・団体に対して清掃用ごみ袋の支給及びごみ収集車の配車の支援を実施している。	アダプトプログラムについては、市ホームページ、広報紙などで里親登録の呼びかけを行い、令和4年度末の里親数も200団体となり、企業をはじめ広く定着した制度となっている。道路・公園・河川・文化財等の公共の空間において、市と里親団体が協働して環境美化活動を行うことで、環境美化に対する意識の高揚を図ることができた。 ・ボランティア清掃については、ボランティア清掃用ごみ袋の支給及びごみ収集車の手配を行う支援を行うことにより、自治会清掃などの地域の環境美化の一助となっており、地域住民の意識を高める手段として機能している。	2,427
46	環境部	廃棄物対策課	特殊ごみ処理費 (野母崎地区空きかん等回収キャンペーン、高島地区空きかん等回収キャンペーン)	事業協力	・野母崎地区空きかん等回収キャンペーン…野母崎地区各自治会 ・高島地区空きかん等回収キャンペーン…高島地区各自治会	毎年6月の環境月間のイベントとして、合併地区では空きかん等回収キャンペーンを実施しており、各市町及び各団体等において散乱している空きかんやペットボトルの回収を住民参加で実践している。	市民が参加する環境月間のイベント「空きかん等回収キャンペーン」について令和4年度は野母崎地区、高島地区で実施しており、571人が参加し、空き缶2,710個(136kg)、ペットボトル725個、空き瓶215個等の回収を行い、市民の環境美化に対する取り組みの向上が図れた。	359
47	文化観光部	観光政策課	出津地区駐車場の維持管理作業	事業協力	外海地区連合自治会出津支部	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産がある西出津町において、車やバス等で訪れる観光客の受入態勢の充実を図るために整備した駐車場の維持管理の作業を、観光客受入態勢整備への協力として外海地区連合自治会出津支部に実施していただくもの。 作業内容は次のとおり 〈駐車場に関すること〉 ・駐車場内の清掃 ・駐車場内の植栽部分の除草 ・駐車場内の植栽部分の灌水 〈トイレに関すること〉 ・トイレの清掃 ・トイレトペーパーの補充 ・その他、トイレを適正に使用するために必要と思われる作業	地域のみなさんが、自主的に維持管理を行うことで、地元の施設を自分たちで守っていくという雰囲気が出てきている。	386

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
48	文化観光部	観光政策課	小菅修船場跡ボランティアガイド	事業協力	小菅町自治会	小菅修船場跡を訪れる観光客の受入態勢の充実を図るため実施するボランティアガイド事業に関して、基本的事項を定め、事業の円滑な執行を図る。 【内容】 年末年始(12月29日～1月3日)を除く土曜日、日曜日、祝日及び甲乙協議により必要と認める日における9時00分～16時00分の間、小菅修船場跡を訪れる観光客に対して世界遺産等の説明を行う。	小菅修船場跡において、土・日・祝日を中心にボランティアガイドとして地元自治会等による構成資産の鍵の開閉をし、内覧できるとともに観光案内を行い、観光客の受入態勢の充実を図った。	702
49	文化観光部	観光政策課	ユニバーサルツーリズム推進事業	事業協力	・NPO法人長崎バリアフリー推進協議会 ・ながさき福祉事業協同組合	「何らかの身体的制約を有する人」に対して、長崎への旅行動機を喚起するきっかけを与え、新たな観光需要を生み出し、また公共交通従事者の対応スキルが向上することにより、観光客に対する都市イメージの向上と満足度の向上を図るため、観光施設などのバリアフリー情報を調査、収集および発信等を行う。	民間事業者において、国内外の観光客(車いす利用者等)を相手にモニターツアーを催行するなど、ツアー造成等の事業化に向けた取り組みが行われており、民間活力を生かしたユニバーサルツーリズムの推進が図られている。	0
50	文化観光部	観光政策課	上大野町駐車場の維持管理作業	事業協力	下大野町自治会	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産がある上大野町において、車やバス等で訪れる観光客の受入態勢の充実を図るために整備した駐車場の維持管理の作業を、観光客受入態勢整備への協力として下大野町自治会に実施していただくもの。 作業内容は次のとおり 〈駐車場に関すること〉 ・駐車場の清掃 ・駐車場の植栽部分の除草 ・駐車場の植栽部分の灌水 〈トイレに関すること〉 ・トイレの清掃 ・トイレトイレットペーパーの補充 ・その他、トイレを適正に使用するために必要と思われる作業	地域のみなさんが、自主的に維持管理を行うことで、地域の施設を自分たちで守っていくという雰囲気ができている。	396
51	文化観光部	観光交流推進室	まちMICEの推進	事業協力	長崎国際観光コンベンション協会(DMO) 長崎MICE事業者ネットワーク	MICE参加者をまちの中に呼びこみ、周遊・滞在を促進し、消費拡大を図るため、MICEの主催者や参加者向けにユニークメニューや地域資源を活かした体験プログラムなどを拡充し、活用しやすい仕組みづくりを進める。	長崎国際観光コンベンション協会(DMO)を中心に、長崎MICE事業者ネットワークが連携することで、地元事業者の参画が促進されるとともに地域の稼ぐ力をより引き出すことができる。	5,175
52	文化観光部	文化財課	文化財サポーター活動費	事業協力	文化財サポーター(26人)	文化財の保護・保存及び周知を図るため、指定文化財等の現況確認調査、市民への周知及び文化財の清掃活動等を行う文化財サポーター活動にかかる運営費	市民と協働して文化財の簡易的な清掃や定期的な状況調査を行うことにより、文化財の保護及び市民の文化財に対する理解を深めることができる。	93

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
53	文化観光部	文化財課	東山手甲十三番館運営	事業協力	特定非営利活動法人長崎の風	東山手甲十三番館において、来館者への観光案内及び飲料提供を行う。また、あわせて館の清掃や見回り監視といった業務、館の活用計画の提案及び実施を行う。	市民活動団体が運営を行うことにより、来館者が親近感を感じるとともに、文化財を市民自らが守っていくという意識が伝わり、市民意識が高まることが想定される。	1,386
54	文化観光部	世界遺産室	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」推進	事業協力	出津地区・大野地区自治会	地域のイベント活動等と連携して、パンフレットの配布や資産の説明による周知啓発を行う。また、出津地区ふれあいセンターによる周知啓発を図る。	地域住民や観光客に対し、世界遺産の価値の理解と今後の保全の重要性を理解してもらった。	0
55	文化観光部	世界遺産室	外海大平開墾地で「いも掘り」体験	事業協力	ド・ロさまの家事務局	ド・ロさまの家事務局が外海地区で実施するいも掘り体験の周知を長崎市が協力して行う。	地域住民や観光客に対し、世界遺産の価値の理解と今後の保全の重要性を理解してもらった。	0
56	文化観光部	世界遺産室	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の周知啓発	事業協力	長崎商工会議所	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」(旧名称「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」)の世界遺産登録と周知啓発を応援する目的で、長崎商工会議所が商工会館ビル内に構成資産のパネルを展示する際にパネルの提供を行った。 展示期間:平成28年5月～	市民に対し、世界遺産の周知啓発が図られた。	0
57	文化観光部	世界遺産室	外海大平開墾地で「お茶摘み」体験	事業協力	ド・ロさまの家事務局	ド・ロさまの家事務局が外海地区で実施するお茶摘み体験の周知を長崎市が協力して行う。 ※令和元年度までは実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できていなかったもの。	地域住民や観光客に対し、世界遺産の価値の理解と今後の保全の重要性を理解してもらった。	0
58	文化観光部	長崎学研究所	長崎学ネットワーク会議	事業協力	長崎大学、長崎県立大学、長崎純心大学、長崎総合科学大学、活水女子大学、長崎外国語大学、長崎歴史文化博物館、長崎県文化振興課、NPO法人長崎史談会、長崎游学の会、NPO法人長崎の風、長崎近代化遺産研究会、長崎近世文書研究会	長崎学研究所を拠点として大学、博物館、郷土史研究団体、長崎県をはじめとしたネットワークを構築する。各団体間の連携と協働を目的として、2か月に1回程度「長崎学ネットワーク会議理事会」を開催する。また、長崎学の振興を目的として長崎学ネットワーク会議主催による長崎学ネットワーク会議公開学習会を年5回程度開催する。	長崎学ネットワーク会議の活動を通じて各団体の動向把握や意見交換などが活発に行われている。また近年では、団体相互による研究連携等の動きも見られるようになっている。	270
59	文化観光部	長崎学研究所	長崎学児童研究コンクール	事業協力	長崎外国語大学	長崎市内の小学生を対象とし、長崎市、各地域に関わる歴史・地理・伝統・人物等の研究作品を募集し、入賞作品を表彰する。郷土に対する関心を高め、郷土の歴史や文化を大切にする心情を養い、また、児童の郷土研究を顕彰することで次世代の長崎学継承者を育てることを目的とする。	大学生に選考に参加してもらうことで、長崎に対する理解を深め、また新たな課題を発見する場を提供することができる。	76

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
60	文化観光部	長崎学研究所	調査研究事業	事業協力	長崎大学	画家が見た戦後長崎の景観とその変化について、美術史を専門とする研究所職員と、景観学・都市形成史を専門とする長崎大学研究者とによる共同研究を実施する。令和5年度中に土木学会への論文投稿を行う予定である。	専門分野が異なる研究者が共同研究することにより、戦後復興期から高度経済成長期にかけての地方都市の景観変化について、新たな視点から明らかにすることができる。	0
61	水産農林部	水産農林政策課	ながさき味わいの匠の認定	事業協力	ながさき味わいの匠	長崎ならではの食文化を市民に発信し、地域農水産物の生産拡大及び地域の活性化を図るため市内の郷土料理等の技術を持ち伝承活動を行う個人や団体を「ながさき味わいの匠」として認定し、各種イベントへの出店や試食会・料理教室等を行う。	地産地消イベント(実り・恵みの感謝祭)への出店によって、長崎ならではの食文化についての発信が図られた。※長崎帆船まつり新鮮市は中止	0
62	水産農林部	水産農林政策課	地産地消アドバイザーの派遣	事業協力	地産地消アドバイザー	市民団体や自治会などが行う研修会等に、農水産業・流通業に携わる人や学識者など、「食」や地産地消についての専門家「地産地消アドバイザー」を派遣する。	「地産地消アドバイザー」を講師を派遣することで、長崎ならではの食文化についての学習及び周知の場を提供できている。	0
63	水産農林部	水産農林政策課	魚食普及事業	事業協力	魚のまち長崎応援女子会	長崎市は豊富な水産物が水揚げされている全国でも有数の水産都市でありながら、「魚のまち長崎の認知度が低い」「魚を食べることの素晴らしさが知られていない」「水産業はほとんどが男性社会となっている」などの現状がある。「魚のまち長崎応援女子会」は水産業の分野に女性の視点を取り入れることを目的に平成23年から活動。 (令和4年度事業内容) ・子どもの魚食普及を図ることを目的に、魚の離乳食レシピ「フィッシュスタート」や幼児向け絵本「おさかな すきなこ だあれ？」を健診の際に配布 ・保育園で「おさかな すきなこ だあれ？」の読み聞かせを実施。 (過去の事業内容) ・市内小学校の魚さばき教室において講師として魚のさばき方や調理法を指導するほか、各種イベントの魚料理教室等において調理実演を実施 ・「おさかなトートバック」制作(女子会でバッグのデザイン、障害福祉施設「清水の里」でバッグ制作)	女性ならではのアイデアをいただきながら事業を進め、より効果的に市民の魚食普及が図られた。	0
64	水産農林部	水産農林政策課	食卓の日サービスランチ	事業協力	長崎市役所食堂 ル・シェフ	毎月19日の「食卓の日」に、食卓を囲んだ家族コミュニケーションの場の創出と地産地消の推進を図るため、市役所レストランにおいて、長崎産の旬の食材などを使った「食卓の日サービスランチ」を提供する。	旬の食材や長崎ならではの食材を使ったランチメニューを市民や職員が利用するレストランにおいて提供することで、「食卓の日」PRや地元食材の消費拡大が図られた。	83
65	土木部	土木総務課	花と緑の安らぎあるまちづくり促進事業費	事業協力	長崎市緑の協力会	○公共用地における花壇の手入れ。 ○緑化に関する知識、技術向上のための研修等への参加。	ボランティア団体と協働することにより、市民の緑化推進への意識を醸成するとともに、花壇の植栽や維持・管理にかかる経費を節減することができた。	36
66	土木部	土木総務課	稲佐山つつじまつり	事業協力	稲佐山景勝保存会・平和と愛コンサート実行委員会	市民等の公園や緑に触れる機会を創出するため、毎年4/29～5/5に、地元団体等と協力して稲佐山つつじまつりを開催。	市民等の公園や緑に触れる機会が創出された。	506

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
67	土木部	土木企画課	一般国道34号道路整備促進協議会	事業協力	一般国道34号道路整備促進協議会	一般国道34号の整備を促進し、もって地域の発展に資することを目的とし、行政・関係自治体及び経済交通団体が相互に情報を共有・交換し、国・県等の関係機関に対し要望活動を実施する。	関係団体が一体となり要望活動を行うことで、事業の重要性と整備推進に寄せる地域の熱意を効果的に説明することができ、一般国道34号の整備促進を図ることができた。	360
68	土木部	土木企画課	一般国道202号(福田ハイパス)道路整備促進協議会	事業協力	一般国道202号(福田ハイパス)道路整備促進協議会	一般国道202号の整備並びに(仮称)福田ハイパスの建設を促進し、もって地域の発展に資することを目的とし、行政・関係自治体及び経済交通団体が相互に情報を共有・交換し、国・県等の関係機関に対し要望活動を実施する。	関係団体が一体となり要望活動を行うことで、事業の重要性と整備推進に寄せる地域の熱意を効果的に説明することができ、一般国道202号の整備促進を図ることができた。	200
69	土木部	土木企画課	一般国道499号道路整備促進協議会	事業協力	一般国道499号道路整備促進協議会	一般国道499号の整備を促進し、もって地域の発展に資することを目的とし、行政・関係自治体及び経済交通団体が相互に情報を共有・交換し、国・県等の関係機関に対し要望活動を実施する。	関係団体が一体となり要望活動を行うことで、事業の重要性と整備推進に寄せる地域の熱意を効果的に説明することができ、一般国道499号の整備促進を図ることができた。	200
70	土木部	土木企画課	ながさきサンセットロード推進協議会	事業協力	ながさきサンセットロード推進協議会	「日本風景街道」及び「九州風景街道」に関わる情報の収集と共有化を図るとともに、「ながさきサンセットロード」各地域の活動内容や課題等について、相互に情報を交換・共有し、併せて地域間の連携・交流を推進する。	「ながさきサンセットロード」の沿線地域が一体となって、統一した取り組みを行うことで、同ルートや沿線地域のより効果的なPRや地域間の連携強化を図ることができた。	0
71	土木部	土木企画課	長崎外環状線道路建設促進協議会	事業協力	長崎外環状線道路建設促進協議会	長崎外環状線の建設を促進し、もって地域の発展に資することを目的とし、行政・関係自治体及び経済交通団体が相互に情報を共有・交換し、国・県等の関係機関に対し要望活動を実施する。	関係団体が一体となり要望活動を行うことで、事業の重要性と整備推進に寄せる地域の熱意を効果的に説明することができ、長崎外環状線の建設促進を図ることができた。	200
72	土木部	土木企画課	西彼杵道路・長崎南北幹線道路建設促進期成会	事業協力	西彼杵道路・長崎南北幹線道路建設促進期成会	長崎市及び西彼杵半島地域内において幹線道路の整備を強化に推進し、もって同地域の振興と活性化を図ることを目的とし、行政・関係自治体及び経済交通団体が相互に情報を共有・交換し、国・県等の関係機関に対し要望活動を実施する。	関係団体が一体となり要望活動を行うことで、事業の重要性と整備推進に寄せる地域の熱意を効果的に説明することができ、西彼杵道路及び長崎南北幹線道路の建設促進を図ることができた。	182
73	まちづくり部	都市計画課	長崎港「海の日」協賛会	事業協力	九州運輸局長崎運輸支局 九州地方整備局長崎港湾・空港整備事務所 長崎海上保安部、他	海に関する様々な産業活動等がますます盛んになるようまた「海」を大切に次世代に引き継いで行きたいとの願いを込めて、「海」に関する様々な記念事業を行うこととしている。 記念事業：海事功労者並びに優良船員表彰式、小学生図画コンクール、航海安全及び大漁祈願祭並びに物故船員慰霊祭他。 長崎市が協賛会の事務局として運営。 各団体、企業より協賛金(寄付金)を募り運営している。 市も運営補助金として100千円支出している。	「海の日」に際し、海事功労者等表彰式典や図画コンクール、会場パレードなどの記念事業を国及び海事関係事業者と協働で実施することにより、海事思想の普及促進に努めている。	807
74	まちづくり部	まちなか事業推進室	まちなか再生推進費(地域まちづくり活動事業)	事業協力	まちなか地域の自治会 重点地区・・・寺町・中通り地区の自治会及び商店街	長崎市と地域や大学、専門家等の多くの関係者が連携して地域での新たな取り組みを試行する。これらの取り組みを通して、有効性の検証や問題を把握し、まちづくり活動につなげていく。	地域の様々な個人や団体が連携することにより、多様性のあるイベントを実施することができた。またイベントをきっかけに知り合った関係者同士が連携して独自の取り組みを実施するなど、コロナ禍においてもまちづくりに取り組もうとする動きが生まれた。	1,309
75	まちづくり部	まちなか事業推進室	まちぶらプロジェクト認定制度	事業協力	市民や企業、団体等	市民や企業等が主体となってまちなかの賑わい創出に寄与する取り組みを「まちぶらプロジェクト」に認定し、広く市民等への周知するとともに、地域や各団体等との調整などの支援を行う。 認定事業件数:95件 (令和5年5月末現在)	認定された団体や個人が独自にまちづくり活動を実施することはもとより、認定された団体や個人同士の新たなネットワークや、既存の認定事業者をサポートする事業も新たに生まれ、事業の拡大や新たな事業の展開などの動きが出てきている。	0

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
76	中央総合事務所	中央総合事務所総務課	地域活性化事業 (地域のつながりづくり事業)	事業協力	連合自治会及び地域で活動する団体等	地域コミュニティの活性化に向けて、まちづくり支援担当職員が地域に入り、多世代の住民参加を促す等のコーディネートを行うなど、住民同士のつながりづくりを行う新たな取組みの企画及び実施を支援する。	連合自治会などの地域の団体が主体となって実施する新たな取組みに対して市も支援しつつ進めることにより、地域の団体や住民同士がつながり、地域コミュニティの活性化が図られた。	106
77	中央総合事務所	中央総合事務所総務課	地域活性化事業	事業協力	(株)V・ファーレン長崎	V・ファーレン長崎を地域ぐるみで応援する機運を醸成し、地域の一体感を高めるため、協働で事業を実施する。	協働して事業を実施したことで、単独開催よりも効果的かつ効率的に開催できた。	749
78	中央総合事務所	中央総合事務所総務課	地域活性化事業	事業協力	(株)長崎ヴェルカ	長崎ヴェルカを地域ぐるみで応援する機運を醸成し、地域の一体感を高めるため、協働で事業を実施する。	協働して事業を実施したことで、単独開催よりも効果的かつ効率的に開催できた。	1,426
79	中央総合事務所	中央総合事務所地域福祉課	地域活性化事業 (健康応援かけつけ隊)	事業協力	地域で活動する団体等	地域ですでに実施されているイベントを中心に、中央総合事務所職員および健康づくり推進員が出張し、健康づくりのための測定・講座を行う。	地域と保健師のつながりを強め、イベントを楽しむついでに健康づくりの意識を高めてもらい、健康づくりの側面からの地域の活性化が図られた。併せて、健康づくり推進員の地域での活動の場を増やすことができた。	402
80	中央総合事務所	中央地域センター	地域活性化事業 (ながさき井戸端パーティー)	事業協力	みらい長崎ココウォーク ロングマルシェ 個人・団体	・地域活動を知る機会や参加する機会が少ない世代(20～50代)を主な対象に、気軽に声を掛け合い交流を生むきっかけづくりとして「井戸端パーティー」を実施する。 ・井戸端パーティー専用サイトを活用する様々な方に取材をし、「井戸端people」という枠でその内容をサイトや広報ながさきで紹介するもの。	・ココウォークの一部を啓発イベントの会場として協力提供していただくこと、若い世代に人気のロングマルシェが啓発イベントに参加協力いただくことで、ターゲット層である若い世代へ井戸端パーティーをより広く周知することができた。 ・実際にサイトを活用した方に取材し、掲載することで多くの方に見て、知っていただくことができた。	1,496
81	北総合事務所	地域福祉課	琴海四季彩館まつり	事業協力	琴湖ひとまちづくりラボ いなカフェ	琴海地区でとれた農産物や旬の食材を広くPRするため、長崎市琴海活性化センター「四季彩館」において、「琴湖ひとまちづくりラボ いなカフェ」と連携し、「琴海四季彩館まつり」を四季(夏・秋)に合わせて開催している。 (R4実績) R4.6.18開催 参加人数744人	「琴湖ひとまちづくりラボ いなカフェ」と連携することで、スイーツや軽食などのカフェスタイルで琴海地区の農産物を楽しめるイベントとなり、若者や家族連れも多く来場した。	64
82	北総合事務所	地域福祉課	子育て応援ひろば	事業協力	子育て中の家庭及び地域住民等	地域全体で子育てを応援する環境を整えるため、地元保育園や民生委員・児童委員、子育て応援サポーター等と連携してお遊び教室等を開催(三重地区において年1回)。	子育て中の親子同士の交流が生まれ、子育て応援サポーターや民生委員・児童委員など地域住民と接する機会ができることで、育児に関する悩み事などを相談・共有しやすい雰囲気醸成される。	0
83	消防局	予防課	消防団員の確保対策等	事業協力	東長崎商工会 三重商工会 長崎南商工会 琴海商工会	市内の4商工会と「消防団活動の充実強化に向けた支援に関する細目協定」を締結したことにより、連携して消防団員の確保対策及び活動しやすい環境づくりに取り組む。	現在、団員の被雇用者の割合は増加しており、今後、消防団活動を円滑に実施していくためには、事業所側の理解と協力が不可欠であるが、多くの事業所が加入する市内の4商工会と協定を締結したことにより、連携して消防団員の確保対策及び活動しやすい環境づくりに取り組むことができる。	0
84	消防局	警防課	初期消火体制整備事業	事業協力	自治会	高台地等で消防自動車が進入不可能又は進入困難な地区を中心に、火災が発生したときに消防隊が到着するまでの間、地域住民の方々が初期消火用具を活用して初期消火を実施し、被害の軽減を図るもの。	地域内における初期消火体制を整備することにより、住民による初期消火が実施され、火災の延焼拡大による被害を軽減できるほか、希薄化が進む地域コミュニティにおける共助意識の醸成につながる。	2,347

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
85	消防局	警防課	救急協力事業所認定制度	事業協力	事業所(銀行、福祉事業所など)、公共機関	普通救命講習を受講した従業員やAEDを設置した事業所を「救急協力事業所」として認定表示し、付近で不慮の事故や急病が発生した際に、119番通報やAEDを含めて応急手当の実施など、救急隊が到着するまでの間、救急業務に協力してもらい、市民の救命率の向上につなげる。	・市民等の救命率の向上 ・地域への安心・安全の提供	99
86	教育委員会	生涯学習施設課	市立図書館サービス活動	事業協力	長崎市立図書館ボランティア	利用者に快適に過ごしていただく図書館を目指して、ボランティアを希望する市民と一緒に配架や書架整理など、各種環境整備等を行っている。(令和4年12月まで)	配架・クリッピング・図書の装備・イベントのサポートなど長崎市立図書館の運営を支え、利用者にとっても快適な空間作りに役立っている。	49
87	教育委員会	生涯学習施設課	市立図書館サービス活動	事業協力	長崎・図書館ともの会	利用者に喜んでもらえる図書館を目指して、図書館バッグを製作し、必要とする利用者に貸出しを行ったり、連携してリサイクル市等のイベントを行っている。(令和4年12月まで)	図書館バッグの製作・寄贈・クリーニングにより、市立図書館を含む各図書室で、本の持ち帰りに便利と利用者から好評を得ている。 年に1回の出前リサイクル市の実施で、遠隔地の利用者にも不要図書の再活用を図ることができている。	0
88	教育委員会	生涯学習施設課	市立図書館サービス活動	事業協力	合同ゆりの会 (ゆりの会) (北部ゆりの会) (第3ゆりの会)	図書館を利用する、乳幼児や障がい児などの子どもたちのために、「布の絵本」を作製し、こどもとしょかんに設置している。(令和4年12月まで)	市立図書館内こどもとしょかんに「布の絵本」を常設しており、また新たな制作や修理など日々貢献していただいている。	0
89	教育委員会	生涯学習施設課	市立図書館サービス活動	事業協力	華道家元池坊長崎中央支部	長崎市立図書館に来館された方々が快適な気持ちで過ごしていただくよう、玄関入口に季節の花を活けている。(令和4年12月まで)	季節ごとの花により、来館者にとって潤いのある空間となっている。	0
90	教育委員会	生涯学習施設課 学校教育課	長崎体験プログラム	事業協力	日吉及び茂木地区の自治会、農業関係者、漁業関係者など	長崎市の子どもたちが農業や漁業等の作業体験を通して、「人との関わり方」や「役割分担の重要性」を学ぶとともに「郷土愛を育む」ことを目的とした長崎ならではの体験プログラムを設けて、日吉自然の家で全市立小学校5年生の2泊3日の宿泊体験学習において、地域住民との協働によるペーロン体験、農業体験、お魚体験の体験事業を行う。	令和4年度は、小学校61校の児童2,969名に対し、長崎体験プログラムを実施した。実施後のアンケート結果によると、体験事業が良かったとする割合は96.59%であり、長崎市の伝統・文化・産業に触れることができた。さらに、宿泊体験活動を通して、協力することの大切さに気づいた児童の割合は95.5%、周りの人に感謝の心をもつことができた児童の割合は94.67%であった。	3,668

No.	部局名	担当課	事業名	協働形態	事業の相手方	事業概要	協働による事業の効果	R4決算 (見込み額)
91	教育委員会	東公民館	大型公民館講座開設費 東公民館主催講座(特別講座) 「にこセン 子育てフェスタ」	事業協力	学校法人純心女子学園 長崎純心大学 長崎おもちゃ病院	子育て中の親子が楽しみ、遊びながらふれあい学べる場として、また親同士や子ども同士が交流する場として、平成26年度から「にこセン 子育てフェスタ」を開催しており、「子ども用品おゆずり会」や「おもちゃの病院」、「小物づくりのワークショップ」などのコーナーがある。 長崎純心大学人文学部こども教育保育学科の講師と保育実践研究会「smile」の学生による「楽しい歌と劇」のコーナーは、平成26年度の第1回目から続いており、大変人気のあるコーナーである。 長崎おもちゃ病院は平成30年度(平成31年1月開催)から参加していただいております、壊れたおもちゃを直してもらって大事に使うことを通して、おもちゃのドクター(会員)と子ども、保護者の多世代交流も生まれている。	子育てに関わる団体の協力を得て、公民館講座をコーディネートし開催することによって多世代が交流できる場をつくり、公民館が地域の方々にとって身近な活動拠点となる。	10
92	教育委員会	東公民館	大型公民館講座開設費 東公民館主催講座(夏休み子ども講座) 「ロボットであそぼう」	事業協力	長崎総合科学大学	長崎総合科学大学の出前講義「NiASセミナー」を活用し、夏休み期間中に小学生を対象としたロボット教室(東公民館主催講座(夏休み子ども講座)「ロボットであそぼう」)を開催する。 (令和元年度から実施)	講座開設により、東長崎地区に所在する大学をより身近に感じることができる。	0
93	教育委員会	東公民館	大型公民館講座開設費 東公民館主催講座(夏休み子ども講座) 「お店屋さんごっこ」	事業協力	キッズマネースクール	株式会社リンクス(長崎市平野町)に勤務しているキッズマネースクール認定講師による「お金について学ぶ講座」を開催する。講師は業務外でボランティアと伺っている。 (令和4年度から実施)	キッズマネースクール認定講師が長崎市に多くはいらっしゃらない中で、有意義な講座が開催できている。	0
				件数				93
				事業費総計				240,391